

毎週日曜発行
2024 3/3

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

46

宇宙って何だろう。地球の始まりは？ みんなは、空を見上げてそんなことを考えたことはないかな？ 国立天文台水沢VLBI観測所(奥州市)の本間希樹所長(52)は2019年、ブラックホールの撮影に初めて成功した国際プロジェクトで日本チームを率いた天文学者だよ。

◇ 8、9歳の頃、家にあった図鑑を広げると、銀河星雲や土星、金星などカラフルな天体が並んでいました。同じ頃、無人

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

宇宙に引かれのめり込む

惑星探査機ボイジャーが撮影した土星や木星も美しかった。なんでこんな

ものが宇宙に浮かんでい

デジタルの情報に満足せず、実際に行動を起こすことが大切です。虫を捕る、星を見る。なんでもいい。そこから得るものに価値があります。



ほんま・まれき 1971年生まれ。横浜市出身。99年東大大学院理学系(けい)研究科修了(しゅうりょう)。国立天文台研究員、准教授(じゅんきょうじゅ)などを経(へ)て2015年から現職(げんしょく)。VLBIは、複数(ふくすう)の望遠鏡を組み合わせ、仮想(かそう)の巨大(きょだい)望遠鏡にする技術(ぎじゆつ)のこと。「深すぎてヤバい宇宙の図鑑」=講談社(こうだんしゃ)など著書(ちよしょ)多数。

本間 希樹所長(52歳・国立天文台水沢VLBI観測所)

親にねだり、望遠鏡を買ってもらいました。月のクレーターや太陽の黒点を観察し、好奇心を一層かき立てられました。元々、興味のあることにはのめり込むタイプ。サッカーは幼稚園の頃に始めて小中学校、高校と続け、中学生の時はクラシック音楽を好きになり、バイオリンに熱中しました。大学でもオーケストラ部に入部。多種多様な人たちの集まりで、社会の縮図を見た気がします。



宇宙にはずっと興味を持っていて、スペースシャトルの打ち上げは、夜中に目覚まし時計をかけて起き、生中継で見ました。でも、宇宙を仕事にするとは考えていませんでした。



大学3年で専攻を選ぶ時に、「宇宙ってすごい」という子どもの頃からの思いが強くなり、天文学を選択。研究してみたら面白くて、今に至っています。

ブラックホールの撮影は、世界から2000人を超える専門家が参加する大きなプロジェクトでした。大学のオーケストラ部のようにいろんな考えの人たちがいましたが、ブラックホールを見たという思いを共有したことで、成功しました。

次はブラックホールの動画撮影に挑みたいですね。そしていつか宇宙人が発するシグナルをキャッチしたい。宇宙に持続可能な文明がある証明になるし、地球の未来のヒントにもなるはずですよ。

宇宙は謎だらけ。だから面白いのです。

今週の注目ニュース

◇3日(日) ひな祭り
女の子の健やかな成長を願う桃の節句の行事。紙の人形を海や川に流し、厄払いしたのが由来です。現代のひな祭りはひな人形を飾り、ひなあられやひし餅、ちらしずしなどを食べてお祝いします。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 備えのコンパス